



県体バスケットボール

第31回県民体育大会バスケットボール競技は、7月4日から3日間、鷹巣体育館を主会場に開催されましたが、少年男子では、全国で無敵を誇る能代工業高校が、各試合とも圧倒的な強さで優勝したのを始め、一般男子は秋田いすず、少年女子は湯沢北高、一般女子は能代北松蔭クラブがそれぞれ優勝しました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

6月30日現在	(前月比)
総人口 25,499人	(3人減)
男 12,498人	(増減なし)
女 13,001人	(3人減)
世帯数 7,109世帯	(1世帯増)

6月定例町議会

綴子簡水 2カ年継続で着手

— 国保財政調整基金条例を制定 —

五十四年六月定例町議会は、六月二十五日から七月四日までの十日間の会期で開かれ、一般会計及び特別会計、条例改正、工事請負契約、請願などを審議して閉会しましたので、決定した内容等について報告します。

六億二千九百九十二万二千円を補正

一般会計 四十三億四千万円余りに

一般会計は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ六億一千百九十二万二千円を追加し、総額は四十三億四千九百九十五万円となりました。



今回の補正の主なものは、衆参同時選挙費用、綴子基幹集落センター、上舟木生活改善センターの新築、公共土木災害復旧事業のほか、各施設の用地確保のための公有財産の購入費、綴子簡易水道改善事業のための繰出金等のために大型補正となりました。

主な補正は、次のとおりです。

町勢要覧・交通安全 全対策費など補正

▽総務費 四十九万一千八百円

追加。

主なものは、退職手当組合特別負担金一千六百九十三万五千円、外国派遣旅費百七十万円、町勢要覧二百万円、綴子公民館盛土整地工事百七十四万九千円、交通安全対策四十三万円、綴子簡水各戸給水工事補助二千万円、陸上競技場竣工式負担金二百三十万円、法人町民税還付百二十七万九千円、衆参選挙費六百五十万四千円。

▽民生費 五百六十万円の追加。

内容は、老人居室整備資金貸付金四百万円と母子家庭住宅整備資金貸付金六十万円。

金貸付金百六十万円。

▽衛生費 七千九百七十四万七千円の追加。

内容は、河川クリーンアップ報償費十四万九千円、綴子簡易水道改良工事の特別会計への繰出金六千九百八十万円、墓地公園特別会計繰出金九百七十九万八千円。

綴子・上舟木・葛黒に生活改善センター

▽農業 水産業 費 一億八千六百六十八万六千円の追加。

主なものは、綴子基幹集落センター新築事業一千八十六万九千円、上舟木生活改善センター新築工事一千二百九十七万二千円、七日市基幹集落センターステージ増築七百万円、水田再編対策補助金四千一百一十六万六千円、畜産関係草地整備工事など六百二十四万一千円、農地費で坊沢農免道路設計委託等二百八十六万七千円、林業費では葛黒林業センター新築等を含めて七百五十四万九千円。

▽商工費 二百九十万八千円の追加。

内容は、産業祭補助二百五十万円、観光費十四万六千円、消費者行政推進十六万六千円。

道路関係や公団整備を補正

▽土木費 五千七百三十八万九千円の追加。

主なものは、胡桃館・国道線ほか用地測量委託四百万円、舗装新設工事二百万円、排水改良工事八百万円、用地買収費九百九十三万円、中屋敷橋修繕工事二百万円、河川機械借上三十万円、南鷹巣地区都

市下水路調査委託料二百万円、太田下水路防護柵百十万円、公園整備工事一千二百七十六万円、鷹中テニスコート新設工事外八百六十万円、ガケ地接近危険住宅移転事業六百一十四万円。

▽消防費 四百五十万七千円の追加。

内容は、消防制度百周年記念全国大会出席旅費五十七万円、愛の鐘新設工事三百八十万円。

七座運動場を整備

▽教育費 二千九百五十万

一千円の追加。

主なものは、東小グランド整備費補助金五十三万円、鷹中宮繕工事七百万円、北幼稚園便所・物置増築工事四百万円、視聴覚映画フィルム購入八十八万円、社会教育活動八十万円、松原地区TV難視聴共同アンテナ工事百五十五万円、公民館費五十八万七千円、文化振興費では無形文化財(大太鼓)記録選択事業二百二十万円、学校開放等に四百四十九万七千円、七座運動場整備工事四百万円。

災害復旧に大幅補正

▽災害復旧費 一億五千三百一十五万五千円の追加。

内容は、農業施設災害復旧事業では五十五年災二十六カ所二千四十四万四千円、林道施設災害復旧で五十五年災二カ所三百九十五万八千円、公共土木災害復旧では過年災十一カ所、五十五年災三十二カ所、町単分十カ所の復旧事業費として一億二千八百九十五万三千

▽諸支出金 四千三百三十九万六千円の追加。

内容は土地の取得で、沢口財産区有地買収費一千九百八十三万九千円、沢口地区公民館用地購入費一千六百八十二千円(内補償費百五十六万一千円)、鷹中野球場用地買収費二十八万円、体育館用地買収費五百九十九万六千円は前年度未払金の計上。

〔歳入〕

歳入の追加財源は、次のとおりです。

▽地方交付税 七千六百十九万六千円の追加
▽分担金および負担金 農林関係分担金で二百三十一千円の追加
▽使用料および手数料 一万六千円
▽国庫支出金 七千八百八十五千円の追加
▽公共土木災害負担金が主なもの
▽県支出金 一億五千四百四十八千円の追加
▽農林関係、ガケ地移転、教育関係が主なもの
▽寄付金 六百五十三万四千円の追加
▽葛葉、上舟木センターおよび共同アンテナ地元寄付金
▽繰入金 八千三百八十八千円の追加
各財産区から各種事業の負担分として
▽繰越金 一億四千七百五十四万九千円の追加
▽十四年度決算により
▽諸収入 二万円の追加
▽雑収入 六千五百十萬円の追加
▽綴子基幹集落センター建設、公共土木および農林災害、老人居室、母子家庭住宅など。

決定した特別会計補正

▽綴子簡易水道会計補正予算

老朽化した綴子簡易水道を、事業費およそ五億七千万円で十五年度より二カ年継続事業として行うもので、本年度分として三億七千六百万円を補正したものです。

三億七千六百万円の補正は全額建設事業費で、内訳は設計監理委託料一千五百万円、建設改良費三億三千五百七十万円、量水器など備品一千七十五万円、取水用地など土地購入費九十六万四千円などが主なもの。

なお、この歳入は一般会計からの繰入金六千九百八十万円と、簡易水道債三億六百二十万

南鷹巣団地に
町営住宅24戸建設

▽工事請負契約締結について

南鷹巣団地に建設する簡易耐火構造二階建十六戸、木造平家建八戸、計二十四戸を次の三工区に分け、総額一億一千八百九十五万五千円で本体工事を行うための議決です。

▽第一工区 簡易耐火構造二階建

四戸建二棟、計八戸(一戸当り面積六十四、九八平方メートル)
▽請負額 三千九百九十八万五千円
▽請負者 小松工務店
小松喜一郎

▽第二工区 簡易耐火構造二階建

四戸建二棟、計八戸(一戸当り面積六十四、九八平方メートル)
▽請負額 三千九百九十九万九千九百九十九円

▽国民健康保険会計補正予算

歳入の内容の補正で、総額三億五百六十五万四千円は変わりません。

内容は、国民健康保険税で九百二十一万六千円を減額、同額を五十四年度からの繰越金を充てています。

▽墓地公園会計補正

九百七十九万八千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は四千万八千五百五十円。

歳入は、全額一般会計からの繰入金。歳出も全額旭町墓地移転に伴う工事費および補償費など。

決定した財産区会計

▽綴子財産区会計補正予算

六千五百五十万円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は六千五百六十八万七千円。

歳入は、立木売却収入五千五百五十万円と繰越金一千万円。歳出は、記念碑移転工事百五十万円と綴子簡易水道事業に対する一般会計への繰入金六千万円。

▽栄財産区会計補正予算

四百五十九万七千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は二千六百六十七万八千円。

歳入は、全額前年度繰越金。歳出は、作業道用砕石三百六十万円、森林組合出資金六十万二千円、造林費二十九万五千円、一般会計繰入金(大沢部落会館修繕費)十万円

▽沢口財産区会計補正予算

一千六百八十二千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は一千七百七十九万九千円。

歳入は、全額土地売却収入。歳出も、全額一般会計への繰入金で沢口公民館敷地買収と補償金。

▽七日市財産区会計補正予算

七百万円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は二千二百二十万五千円。

歳入は、全額前年度繰越金。歳出も、全額一般会計への繰入金で七日市基幹集落センター増築関係予算。

決定した議案

▽秋田県市町村交通災害共済組合規約の一部変更

男鹿市が新たに交通災害共済に加入したため、議会の議決を得たものです。

▽町道路線の廃止について

中学校坊沢線(延長千六百八十メートル、幅員五、五メートル)が陸上競技場の工事により起点の位置が変更となったため廃止とし、次の議案で改めて認定替えとするものです。

▽町道路線の認定について

前の議案で廃止した中学校坊沢線が、陸上競技場の整備により路線を変更し、新たに認定したもので、延長千七百四メートル、幅員五、五メートル。
坊沢大町下道線延長四百十メートル、幅員四メートル。この線は、西小学校西側の地域が冬期間の除雪が困難なため、町道に認定し、交通の確保を図るとともに地域の土地利用の一助とするため。
▽鷹巣阿仁広域市町村圏組合と鷹巣町との間の広域陸上競技場に関する事務委託に関する規約の制定について
鷹巣阿仁広域圏組合事業で、鷹巣中学校の隣接地に完成した陸上競技場の管理および執行を、鷹巣町が委託するというもので、規約は、委託事務の範囲、管理経費などを定めています。
▽町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
議員提案によるもので、建設水道常任委員会の所管事項「上水道下水道に関する事項」を「水道及び下水道に関する事項」に改めたものです。

▽山村振興センター設置条例の一部改正
山村振興法に基づき、五十四年度事業として七座健康増進センターが完成したので追加するものです。

▽財産処分について
沢口財産区有地、中屋敷字大野百七十六番ほか三筆、原野、合計九万九千九百九十四平方メートル、千九百八十三万八千八百円で処分するもの。

▽土地取得について
前記の中屋敷大野百七十六番ほか三筆の原野九万九千九百九十四平方メートルを千九百八十三万八千八百円で沢口財産区から町が取得するもの。

教育委員に 湊屋氏を選任

決定した人事議案

▽教育委員の選任について
欠員中の教育委員に鷹巣宇西鷹巢 湊屋昭一郎氏(52)を選任しました。

▽固定資産評価審査委員会の委員の選任について
任期満了に伴う固定資産評価審査委員に脇神宇脇神 花田吉蔵氏(59)を選任しました。

▽人権擁護委員候補者の推選について
任期満了に伴う当町の人権擁護委員候補者として七日市宇大

護委員候補者として七日市宇大

畑圃の内 島山清吾氏(63)を推せんしました。
▽選挙管理委員及び補充委員の選挙について
選挙管理委員 成田彦之進

住居表示を再提案

特別委員会を設置

▽字の区域および名称の変更について
昨年の十二月定例町議会に提案した「字の区域および名称の変更について」は、十二月議会で継続審議となり、三月で議員の任期が満了となったことから、廃案となつたため再度提案したものです。

ご承知のとおり、町では昭和五十三年四月から鷹巣地区を対象として住居表示整備事業をすすめ、町長の諮問機関である住居表示審議会(委員二十名)では、五十三年十一月一日から五十四年八月六日まで、七回におよぶ慎重審議を重ね、同年八月二十七日に町長に答申をだしています。

答申内容については、昨年の九月一日号の広報にくわしく掲載しておりますが、実施区域、街区方式、町割り(字割り)については諮問のとおり、町名(字名)については、十一町名中五町名について変更答申をしています。

答申により、町長は実施区域、街区方式について昨年九月の定例町議会にはかり、議決を得ております。

また、町割り町名についても

(鷹巣)松前一司(七日市)千葉正治(沢口)戸沢左右二(七座)同補充委員 高坂林三(坊沢)九島友二(綴子)藤島修三(栄)桜田専蔵(鷹巣)

答申された内容のままで、十二月定例町議会に提案したところ前記のとおり継続審議、廃案となつたため、町議会議員改選後の初定例会に再提案したもので、次の特別委員で審議をすすめることになりました。

▽委員長 村上良治 ▽副委員長 細田興市 ▽委員 河田隆一、吉岡興、武田佐市郎、成田稔、佐藤勇、今野実、渡辺茂雄

▽交通体系の整備促進に関する現状調査と対策について
交通体系(一〇五号バイパス、鷹巣堂川線の路線変更と中岱橋、阿仁合線)の整備促進について、現状調査と対策を立てるため、議会内に「交通対策特別委員会」を設置することになり、次の特別委員を選任しました。

▽委員長 花田大四郎 ▽副委員長 永井与蔵 ▽委員 河田隆一、高橋祐三郎、沢田一義、間瀬久蔵、清水修智、三沢実

決定した条例の改正

▽国民健康保険条例の一部改正
改正の主な点は次のとおりで

郷土史年表

西暦	年号	事
一七八四	天明四	○三月七日 鷹巣村焼失 火元新兵衛(林子平の三国通覧図説ができる)
一七八五	天明五	○坊沢の能登屋佐治右衛門 肝煎在職中の精勤を賞され、藩より上席肝煎加談役の待遇をうける。
一七八七	天明七	○凶作続き、ききんで今泉村戸が二十七戸になつた。 (徳川家斉が將軍となる) (アメリカ憲法制定) 七日市長崎七右衛門が……… 七日市の長崎七左衛門が「老農置きみやげ日記」に記録したのを見ると、天明三癸卯年の凶作は前代未聞の不熟(稲が実らないこと)にして、昔八十九年以前の元禄八乙亥年の飢饉を「青台」と号して宝暦五亥年の凶作にも増りしもや、さて元禄の飢饉には春より東風折々吹き、夏中寒く、稲は出ぬ勝にて、畑作みならず、多分、ワラ、ソバカラを食事とし、惑いは稲かぶの根を洗い、それを白につき、ワラビの根を洗い食し、ついにこれも食い尽し、後には萱家の屋中を結びし縄などを食しとぞ(中略)
一七八八	天明八	宝暦三酉年は八月二十日に雪降り、稲はこぼれ翌四戌年は水魂といへる虫ついで、空しく一年の辛苦水泡に期し亥年も洪水、稲虫の発生で皆無、藩は銀札を出しているが餓死者多い、と記録されている。 ○七月 御巡見使 藤沢要 三枝十兵衛、川口久助の三人下向し、綴子村にて御昼小休、大館町へ通行、太田新田村より加伝馬勤む。 ○前山四十九戸

(続く)

す。
 保険税の最高限度額二十二万を二十四万に、所得割百分の六・八を百分の六・一に、資産割百分の三十二を百分の二十八に、減税一人当り十六万五千円を十七万円にそれぞれ改正しております。

決定した条例の制定

国民健康保険財政調整基金条例

水道事業会計決算

累積欠損金を解消

五十四年度水道事業会計決算の認定について
 水道事業会計決算は、六月定例議会上程され、本会議で建設水道常任委員会に付され、現在同委員会で審議中ですが、その内容をみますと、昭和五十一年度から五カ年で財政再建計画を企画し、累積欠損金等の解消に努めるとともに、一般会計からの高料金対策補助金としての繰入れなどをあおいだ結果、財政再建計画年次に、累積欠損金を解消しております。

内容は、業務量は給水件数が二千四百八十件、年間総給水量は六十五万九千九百七立方メートル。
 経理は、事業収益一億百六十五万五千七百円、事業費七千九百七十八万九千五百七十七円、当年度純利益二千二百五十七万六

の制定

この条例は、国民健康保険事業に財源の不足を生じたときの財源を積み立てるための条例で、設置の目的、積立て、決算剰余金の繰り入れ、管理、運用基金の処理、繰替運用、処分などの条文からなっており、毎会計年度において決算剰余金が生じたときに、その剰余金の範囲内で基金に繰り入れることとなります。

千五百十円をあげることができ、繰越欠損金一千七百二十万六千八百五十二円を解消し、未処理分利益剰余金五百三十六万九千二百九十八円としております。

採択となった請願

- 旧軍人軍属恩給欠格者の処遇に関する陳情書(請願者 旧軍人軍属恩給欠格者秋田県連盟会長 成田松太郎ほか)
- 補助金交付の陳情書(社会福祉法人県北報公会理事長成田重右エ門)
- 精神薄弱者更生施設吉野更生園の建築に伴う陳情書(右同、県北報公会)
- 昭和五十五年産米の政府買入価格等に関する陳情書(西部農協組合長理事三上兵一郎ほか)
- 昭和五十五年年度の農政確立と要

求米価実現についての陳情書(秋田県主食集荷商業協同組合理事長本田源太郎ほか)
 秋田営林局存続に関する請願書(全林野鷹巣分会執行委員長宮腰茂ほか)

決定した意見書と決議

- 昭和五十五年産米の政府買入価格等に関する意見書提出
- 食糧自給力の向上ならびに米穀政策の確立に関する意見書提出
- 秋田営林局の存続を求める意見書提出
- 米代川水系(西部地区)河川改修の促進に関する決議提出
- 国道一〇五号線鷹巣バイパス主要地方道鷹巣、川井、堂川線変更の促進に関する決議提出
- ※以上五件は、それぞれ関係機関に意見書及び決議文を提出しております。

継続審議となった請願

- 児童館建設に関する陳情書(請願者 鷹巣子ども会育成会長藤原愛)
- 鷹巣阿仁部広域市町村総合卸売市場(仮称)設立に関する同意並びに協力陳情書(同総合卸売市場設立準備発起人会代表三國高教)
- 国道一〇五号線バイパス短絡線があげばの町、住吉町を拡幅され通過する計画の変更に関する陳情書(あげばの町代表芳賀喜行)

成人記念作文の募集

昭和五十五年の成人式は、別掲のとおり行うことになりました。

教育委員会では、この機会に成人された皆さんから作文を募集し、若人の建設的な意見を取り入れた新しい町づくりの糧にしたいと考え、左記要項で、成人記念作文を募集することにしました。

- 募集要項
- 資格
- 今年、成人式を迎える男女

- ① 成人になって思うこと
- ② 二十歳(ハタチ)の権利
- ③ こんな鷹巣町にしたい
- ④ 職場(サークル等)を通し

⑤ 私の人生観
 字数 四百字詰原稿用紙五枚以内

選考 優秀作を若干名発表
 本人へ直接通知すると同時に町広報、新聞に掲載します。また成人式当日、会場で作文を朗読していただきます。

締め切り 八月一日
 応募方法
 教育委員会(または公民館)へ郵送、または直接お届けください。

その他
 優秀作に選ばれた方には、薄謝をします。

成人式のご案内

本年度の成人式は、八月十五日鷹巣公民館において行います。今回成人式を迎える方は、昭和三十四年四月二日から昭和三十五年四月一日までのあいだに生まれた町内居住者となります。のちほど案内状を差し上げます。

なお、就職、学生等で町外に出ている方でも、参加を希望する方は、家族を通して八月五日まで、住所、氏名、生年月日、世帯主名、続柄を教育委員会社会教育課にご連絡ください。電話は、二局一―一番、内線二六四となっております。

54年度 社会福祉協議会収支決算報告

善意の寄付が三百六十万円

『各位のご協力に感謝します』

各方面から「福祉の見直し」について論議が行われている中で、体の不自由な人、寝たきり老人、一人暮らし老人、そして不況と物価高の中で自分の力だけではどうにもならない生活環境にある人、各種施設に入所されている方々に対して、町民各位の参加とご協力によりまして、当協議会では五十四年度において次の事業を実施しましたので、ご報告いたします。

昭和五十四年度社会福祉法人鷹巣町社会福祉協議会の収入、支出決算の内容は次のとおりです。収入総額二千八百二十五万三千四百七十八円、支出総額二千四百五十五万四千七百五十四円、差し引き三百七十万三千三十四円の剰余金は五十五年度へ繰越しました。

収入の内訳

- ▽会費七万二千五百円 普通四万二千五百円、賛助三万円
- ▽共同募金配分四百四十七万八千六百七十六円 一般配分金二百五十二万二千円、特別配分金十八万四千六百六十六円七十六円
- ▽補助金六百三十七万九千七百円 町四百五十万円、県社協十六万一千七百円、福祉活動専門員百二十一万八千円、在宅福祉活動およびボランティア活動推進

補助金五十万円

- ▽町委託料九百五十五万五千三百三十三円 家庭奉仕員三人分、中央・東保育園給食係二人分、綴子・太田児童館厚生員二人分
- ▽寄付金三百六十二万七千三百七十四円 香典返し二百七十四万円、一般寄付金五十七万七千三百七十四円、指定寄付金三十一万円
- ▽前年度繰越金二百九十九万七千六百二十九円
- ▽雑収入百七十三万二千二百六十六円 退職引当金戻入(一名分)百三十一万一千五百円、共同募金事務費七万九千円、預金利ほか三十四万一千七百六十六円

支出の内訳

- ▽会議費十五万九千七百八十円 理事、評議員、監事の手当および役員旅費

- ▽社協事務職員給与 六百六十三万七千七百一十一円(三人分)
- ▽事務費五十七万七千二百五十七円 消耗品、印刷製本費ほか
- ▽事業費四百七十七万五千五百二十三円 ボランティア組織活動育成費、在宅福祉活動費、旅行困窮者旅費、災害援護費、長期入院患者見舞金、子どもの遊び場遊具、母子福祉会、老人クラブ連合会、身障協会、心身障害児者、日赤奉仕団、少年赤十字団、更正保護婦人会、遺族会、子ども会連合会に対する団体育成費、各種福祉施設へ歳末たすけあい募金の配分、重度心身障害者、一人暮らしねたきり老人への配分
- ▽町委託事業費一千六百六十七万四千四百円 家庭奉仕員六百六十五千六十円、中央・東保育園の給食助手二百九十二万三千六百七十一円、綴子・太田児童館厚生員二百六十八万一千四百三十三円
- ▽諸支出名七十三万七千七百円 県社協および郡社協負担金、心配ごと相談所への繰出金、民生委員協議会への繰出金、指定寄付金 以上が、収入・支出決算の概要です。

なお、社会福祉協議会では、心配ごと相談所の開設(毎週月曜日)、世帯更生資金貸付業務、たすけあい資金貸付業務のほか、老人クラブ連合会、身体障害者更生協会、遺族会連合会の事務も担当しています。

疲れ、だるさ



高温多湿のうっおしい季節。何をするにも体がだるく、疲れやだるさを訴える人がふえています。

十分な睡眠や調和のとれた食事、適度な運動で、その日の疲れはその日のうちに取り去り、翌日まで残らないようにしましょう。

一口に疲れ、だるさといっても、病気の症状としてあらわれる場合と、病気とは無関係に起こる場合があり、その区別は医師の診断にゆだねなければなりません。

ところで、これといった病気がなくても起こる疲れ、だるさは、睡眠不足や過労など生活そのものの不合理・不健全つまり生活のひずみが原因となっていることが多いのです。

このような疲れ、だるさの原因は、病気ではありませんが、そのままの状態が続くと本当に病気になるてしまいます。そうならないように、心身は生活のひずみ改善を訴える。この訴えが疲れてあり、だるさである。

と考えればよいでしょう。

ですから、疲れ、だるさを感じたら、次のような生活のひずみを再点検してみましょう。

〔運動不足〕

体全体の適度な筋肉疲労が足りないために、かえって疲れる疲れのないから疲れる、という症状です。適度な運動を。

〔休養・睡眠不足〕

心身両面の、能率のよい休養が必要です。体の疲れは睡眠によって解消されますが、頭や心の疲れは眠るだけでは不十分で、気分転換や運動が不可欠です。

〔食生活の偏り〕

栄養のアンバランスは体の機能にいろいろな障害を引き起こしますが、疲れ、だるさはその前ぶれともいえます。献立の見直しを。

〔ストレスの蓄積〕

精神的な疲労は、気づかれの多い現代社会を象徴しているともいえます。いい意味での遊びを生活に取り入れましょう。





北秋中央病院

救急指定病院に

—医療体制グンと充実—

県厚生連北秋中央病院(岸部陸院長)が、六月十九日付けで「救急指定病院」として県から認可となり、同日から救急医療業務がスタートしております。

北秋中央病院には、認可前も救急患者が搬送されてきましたが、救急医療体制が不十分であったことから、公立米内沢病院や大館市立病院に搬送されるケースが多く、時間的ロスなどから、同病院の救急指定を望む声が以前から出ていたものです。

このため、北秋中央病院では数年前から医局陣、医療設備の充実に力を入れ、現在の常勤医師は内科四人、外科三人、産婦人科一人、歯科一人の合わせて九人を数えているほか、整形外科、耳鼻科なども含めて十二科にはのぼっています。また、一般ベット数も二百六床

から二百三十一床に増えたのを始め、救急医療に必要な医療機器の整備を図るなど、医療体制の確立

を急いでいたものです。

北秋中央病院では、「救急指定病院」に認可のあった六月十九日から、外科、内科の二人の医師の当直制を実施、急患の対応に備えており、当町の救急医療体制はグンと充実しました。

住宅や土地取得に対する

不動産取得税が

改正になりました

住宅や住宅用の土地の取得に対して課税される県税である不動産取得税の軽減措置が、四月一日から取得するものについて次のとおり改正されましたのでお知らせします。

従来、住宅の新増築については、評価額から一戸当り一律三百五十万円を控除する特例が認められていましたが、これが新増築された住宅の床面積が百六十五平方メートル以下かつ評価額が一平方メートル以下である住宅に限り認められることとなりました。

また、従来認められていなかった中古住宅の取得に対する特例も、その住宅の床面積が四十平方メートル以上百六十五平方メートル以下であって評価額が七万七千円以下で、かつ一定の要件を満たすものについて、その住宅が新築されていた当時適用されていた、新築住宅について

の特例控除額が控除されることとなりまし。

更に、住宅用土地の減額については、従来からの新築住宅用土地の減額に加え、中古住宅にある土地についても減額が認められることとなりましたが、新築用土地、中古用土地のいずれの場合も、その土地の上にある住宅が前述しました特例が認められる住宅である場合に限り認められることとなりました。

なお、これらの課税の特例は、いずれも住宅や土地の取得の日から六十日以内に、その適用を受けるとき旨の申告がない場合には、適用が受けられなくなりますのでご注意ください。

この改正の詳細や申告の手続については、北秋田県税事務所に問い合せください。

町長日誌

6月16日～6月30日

- 16日 消防団幹部会
- 17日 補正予算査定
- 18日 鷹巣高校野球場期成同盟会
- 19日 鷹巣中学校体育祭
- 23日 森吉町外四カ町村病院組合管理者、副管理者会議

- 25日 六月定例町議会
- 26日 郡市中学校陸上競技大会
- 27・28日 町議会本会議(二般質問)
- 30日 町議会常任委員会

議会日誌

6月16日～6月30日

- 20日 議会運営委員会
- 23・24日 議会報編集委員会
- 25日 六月定例町議会
- 27・28日 町議会本会議(二般質問)
- 30日 各常任委員会

7月の納税

- 保険税 1期
- 固定資産税 2期

自主納税にご協力を

北歐 視察報告

秋田フィンランド協会主催の「第二回北方圏文化視察団」(皇沢恭一団長・二十五人)は、六月三日から十五日までの十三日間、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧三国を訪問、北方圏の生活や文化を研修視察して帰国しましたが、その団員として町役場から佐藤与治兵衛総務課長、佐藤勘重農林課長、山内清種議会事務局長が参加、大きな成果を得て帰町しましたので、その概況について報告していただきました。

第二回北欧研修旅行に参加の機会を得た私も三人は、一行二十五名とともに北欧三国の生活に触れながら、二週間の旅を終え帰りました。

出国きびしい成田空港

成田の開港事情も承知しておりますが、出国手続のあと、三日午後十時三十分成田をあとにしました。

訪問国はフィンランド(ヘルシンキ一泊・イバロー・ソゲンキエラ一泊・ロバニエミ・ケミー一泊)スウェーデン(ストックホルム二泊)ノルウェー(オスロ一泊・ラムダール一泊・ベルゲン二泊)の諸都市です。帰路飛行機の故障でアムステルダムに一時滞るといふハプニングもありました。

出発寸前に第一回参加のOBか

ら、時差七八時間、雪国、そして国の一部が北極圏、ミッドナイトの国、人口が少ないなど、訪問国のキーポイントを断片的に耳にしたことを思い出しながら、未知の世界を探索する心の躍動を押えつつ、機中の人となりました。

孤独な機中で

孤独な機中で、研修のこと職場のことなど、次々に浮かんでは消え去る走馬燈のような頭の中から過酷な自然に耐え、福祉諸施策と高水準の生活を築きあげていると聞かされる北欧諸国から、鷹阿の開発の糸口はないかとの課題は、第一回の皆さんと同じ願望です。また、外国の自然と生活文化の実態に触れ、外側から日本を再評価してみたい。そのためには、百聞



野菜、果物が並べられているマーケット広場(ヘルシンキ)

より足と目で確かめようとしたのだと自問自答を繰り返しながら、機中の旅は続きました。

語学の必要を痛感

北欧諸国では小学校から英語が必修なので、私達の英語風の言葉でも少しは理解してもらえたのが強味でした。自由な会話がなくて行動は鈍り、陰気になりがちです。言葉の不自由さから、もつと語学の勉強をしておけばよかった、いや、外国に出る機会をそんなに認めないなど、論議のあるところでした。

現実としてこちらから問いかけ

るには、単語の並列とゼスチュアでその場を過ごせたが、相手の話は全然理解出来ず、通訳の手を煩わす不自由さを痛感しました。白夜をホワイトナイトと言って笑われたり、有料トイレで困惑したり国際電話の申込み、買物の値引きなど、苦笑の実例にはことかかない旅でした。

帰町後、ポケット和英辞典など携行していればもつと充実した研修ができたのにと悔まれます。

森林資源

赤松とエゾ松、白樺が北欧の主な樹種であり、相当の年輪(二十〜二十五センチ、百〜百五十年位)

を経て、建物や家具に使用されている木材をみると堅牢で、森林資源の保護については、植林をし、手入れも行届いており、森林を大事にしていることが目に止まりました。また、三百キロメートルも上流から原木一本一本の河流して木材を運搬していました。が、北欧ならではのことと思いま

通貨

三方国とも通貨の差は、日本円が国際レートで六十〜七十円安く、紙幣は日本の円が一番精巧な印刷で、北欧のそれは日本の子供達のオモチャに使っている様な印刷でよくニセ紙幣が横行しやすいものだと考えさせられました。

また、ドルの価値が低下したとは言え、北欧の第三、第四都市でも依然としてドルが幅をきかせ、日本円は残念ながら一部の都市より通用出来なく、世界での日本の位置はまだだと考えさせられました。

フィンランド

最初の訪問国は、ヘルシンキオリンピックで名高いフィンランド。ガイドは東京出身で現地生活十二年(奥さんはフィンランド人)の熱血漢あふれる今井という好青年でした。

国の三割も占めるというラップランド地方、北緯六十六度三十三分以上の北極圏、イバローよりロバニエミに向かって、バスは、赤



いまから 900年前にバイキングが建てた教会。材料はすべて赤松でできている (ノルウェー)

松、白樺の森林、そしてツンドラが続く荒涼たる大地を三〇〇キロメートル近く走り続けました。北国の初夏は、わびしさと厳しさが交錯する自然のように感じさせられます。樹木は、厳寒に耐えつつも素直に生長している姿、それは物言わぬ木々が、人間に何かを教えているような気がしてなりません。また、ヘビ、ネズミ、カエル等の動物はほとんど生息しておりません。

頂(標高五百メートル)にリフトで登りました。時すでに夜の十二時を回っていました。白夜の真赤な太陽は、山頂の地平線まで降りて沈みません。身にしみる寒さが北極の夜を感じさせる中で、ミッドナイト・サン(真夜中の太陽)に向かって一人一人の儀式が挙行されました。「サルビ(トナカイの角)・マイト(牛乳)・ヴェシ(水)」と祈り、「願」をかけるのでした。トナカイはラップ人の生活の糧であり、太陽の恩恵を半年も受けないラップ人にとっては、太陽は神聖なる神である気持ちが理解出来るような気がしました。

ハダカ親子

北欧の各都市で、多くの日光浴をしている親子や若者を見受けました。これは、一年の半分も太陽に恵まれない北欧の人々が、やがてやって来る酷暑に対応する備え

なのですが、海外旅行者の一部の人々はこれを見て、北欧の国ではすぐハダカになると誤解し、白眼視している人もあって困るということ。 文明人は、自然の冷酷に科学の力で対処しておりますが、ラップランド地方の河には護岸工事もなく、新緑と青々とした清流が、自然にゆっくりと北極圏へ続いております。北の涯は、人の世の涯のように見える反面、文明に汚されていない最後の楽園かもしれませぬ。一行の長谷川画伯が「北国はラップ人の天国」というスケッチをしていたのと併せ思い出されます。

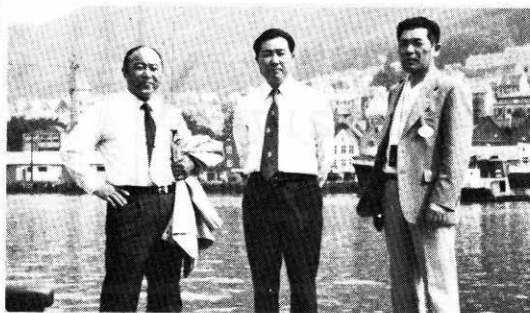
スウェーデン

北欧第一の工業国を自認し、国産車も生産し、多くの科学者や技術者を生み出しております。街を見聞して気付いたことですが、ノーベル賞の創始者であるノーベルも、必要にして生まれた感を強くしました。それは、国のほとんどが岩盤で覆われ、ダイナマイトが国の開発に不可欠と思われました。現在でも街の要所要所に岩の露出が見受けられます。

遊具は木製

案内されたのは、自治体が設計して造った団地の遊園地です。木製品で作った十数種類の遊具、古タイヤを活用したものなど、日本では危険と言われる遊具が奨励され、子供達は伸び伸びとしゃぎ

ベルゲン(ノルウェー)で、右から佐藤与、佐藤勤、山内



ロの中心街カールヨハンズ通りは夕方から若者のデートの場となっております。

また、北欧のほとんどの都市のレストランは、午後八時頃からダンスの場となるよう、宿泊したホテルでも夕食後、生バンド演奏付で午前三時頃までディスクを楽しんでいましたが、この若者達の翌日の勤務は大丈夫だろうかといささか気になりました。

日本人との出会い

日本を離れると、外国で日本とかわりあるどんなことに出会うかに、関心がわいてきます。

開園後、子ども们的交通事故が激減したという説明で、その因果関係に興味を引きました。この国の家具は、近く日本の大手のデパートでも販売予定とのことでありました。

ノルウェー

ノルウェーで印象づけられたのは、彫刻家ビーゲラン氏が半生を打ち込んで創作した作品で、人間一生のあらゆる姿態には目を引かれました。

また、ラルガルから第二の都市ベルゲンに見るフィヨルドの大小の滝の景観は、北欧でなくては見られない景勝地でした。 白夜と若者は切り離せないオス

日本でも一部で採用しているが、交通事故防止のため車が真っ昼間、ライトをつけて走っていたり、建物、人の動きが少ない北欧の首都を見聞したあの成田からみた東京は、過密そのものでした。

- 総務課長 佐藤与治兵衛
農林課長 佐藤 勤重
議会事務局長 山内 清重

今度は全県中学陸上

7月18日から20日まで

鷹巣陸上競技場で開催

第二十六回全日本中学校通信陸上競技秋田県大会兼第二十九回全県中学校陸上競技大会は、七月十八日から二十日までの三日間、第二種公認の鷹巣陸上競技場で開催されます。

期間中は、選手役員合計一千二百人が来町、八百五十人の選手役員が期間中当町に宿泊することになっていきます。

期間中の主な競技日程は次のとおりです。

- ▽十八日 午後一時三十分男子百メートル、ハードルから競技開始、百、二百、四百、一千五百メートル、リレー、走高跳、砲丸投、走幅跳。
- ▽十九日 午前九時三十分開始、百、二百、四百、八百、一千五百、三千、リレー、走高跳、棒高跳、砲丸投。
- ▽二十日 午前九時開始、百、二百、四百、三千、リレー、走幅跳、走高跳、砲丸投。

大学選抜相撲大会

7月27日体育館で

第十一回全日本大学選抜相撲秋田大会は、七月二十七日午前九時から鷹巣体育館特設土俵で行われ

ます。

出場校は、東日本、西日本の大会でそれぞれ上位入賞して出場権を獲得した十二校で、東日本は、日本、専修、中央、東京農業、明治、駒沢、拓殖、日本体育、法政の九大学。西日本は、近畿、同志社、中京の三大学。

競技は、団体戦が予選三回戦を行い、上位八校で決勝トーナメント。個人戦は、オールトーナメントで行われることになっており、土俵上での熱戦が期待されます。

大学相撲準備で

体育館を休館

七月二十七日、鷹巣体育館で行われる全日本大学選抜相撲大会の準備と、後仕末のため、七月二十二日から二十九日までの八日間、鷹巣体育館を休館いたしますので、お知らせします。

家出人相談所開設のお知らせ!

警察では、みなさんから家出人として相談を受けた方について、

お知らせ

その所在や行先などを調査してありますが、いまだにその手掛りのない方も相当数あります。

こうした消息のわからない家出人の中には、思いがけない事故や自殺などにより、身元がわからないまま異郷の地で無縁仏として葬られている方も多数あります。

このような不幸な方々を、一日も早く身寄りの方にお引き取りを願うため、鷹巣警察署では全国各地で身元がわからないまま死亡した人の写真を準備し、八月一日から三十一日までの一カ月間、家出人相談所を開設しております。

お気軽にご相談ください。

警察官募集

昭和五十六年四月採用の警察官を、次の要領で募集しております。

これは、秋田県、埼玉県、千葉県、警視庁、神奈川県および静岡県が共同で実施する警察官の採用です。

- ▽採用予定人員 秋田県 約六十人 県外(五県合計) 約四十人
- ▽受験資格 昭和二十八年四月二日から昭和三十三年四月一日までに生まれた男子。
- ▽受験科目 Aコース 大学を卒業した者のみ(昭和五十六年三月卒業見込みの者を含む) Bコース Aコース以外の者

試験の日時・場所

- ▽第一次試験 九月七日(大館市)
- ▽第二次試験 十一月月中旬(秋田市)

合格発表

- ▽第一次試験 九月上旬
- ▽第二次試験 秋田県は十二月上旬、県外は十二月中旬から昭和五十六年一月下旬までの間。

- ▽受付期間 八月三十日まで
- ▽申し込み先 鷹巣警察署

なお、申し込み用紙等くわしいことは、鷹巣警察署警務係(電話二一(二四五)にお問い合わせてください。

電気工事士試験

受験準備講習会

来る八月十日に実施される電気工事士技能試験の準備講習会を、

七月二十二日、二十三日、二十四日の午後一時から午後五時まで、鷹巣高等職業訓練校で開きます。講習内容は、実施試験に必要な配線工事の基本と応用。受講ご希望の方は、七月十八日まで鷹巣高等職業訓練校へ申し込みください。(電話でも可)。材料代の一部として、当日二千円納入していただきます。

忘れてませんか!!

老人医療券の交換

老人医療券(老人医療費受給者証)の交換を、六月二十五日から各地区で実施いたしました。まだ交換していない方がおられます。新しい受給者証がないと、病院で治療を受けることができませんので、交換していない方は保険証を持参のうえ、すぐ町民課福祉係へおいでください。

家庭教育相談は

2-1217番へ

県教育委員会では、北教育事務所に家庭教育カウンセラーを配置して、お子さんの家庭教育についての気がかりなこと、悩みごとなど電話相談に応じております。

お気軽にご活用ください。

☎相談日 毎週月曜日、水曜日(祭日は休み)

☎時間 午前9時～11時30分
午後1時～3時30分

相談方法は、面接、電話いずれでも結構です。

交通安全子ども自転車大会



鷹小Aチームが優勝

第六回鷹巣町交通安全子ども自転車大会が、六月二十九日午後一時から鷹巣小学校体育館で行われ鷹小Aチームが優勝しました。大会は、自転車の正しい乗り方を習得し、交通事故防止を行うことを目的に開いているもので、当日は三校五チーム(二チーム四人)が参加し、学科(交通規則、常識、道路標語)と実技で日頃の安全運転ぶりを競い合いました。

町民バレーボール

役場A(一般男子)が優勝

第十一回町民バレーボール大会は、六月二十三日から三十日まであいだの六日間、鷹巣体育館で行われ、男子一部で役場Aチームが七座を破り優勝しました。

同大会には、男子一部に七チーム、女子一部に五チーム、二部に六チームの計三十一チームが出場、予選リーグ戦のあと決勝トーナメントを行いました。成績は次のとおりでした。

- ▽男子一部 ①役場A ②七座 ③綴子バガーズ、糠沢
- ▽同二部 ①南鷹巣 ②役場B

町連青球技大会 綴子Bが優勝

第十九回町連合青年会球技大会は、六月二十八・二十九の両日鷹巣体育館で開かれ、綴子Bチームが総合優勝を飾りました。

大会には、全町から約二百五十人の青年が参加、男女バレーボール、卓球、女子バドミントン、男子バスケットボール、綱引きの六種目に熱戦を展開。総合優勝は最終種目の綱引きで決まるという戦いに、場内は大きな盛りあがりを見せていました。

各種目三位までの成績は次のとおりでした。

- ▽男子バレーボール ①綴子B ②七座 ③坊沢
- ▽女子バレーボール ①綴子A ②坊沢 ③栄
- ▽卓球 ①栄 ②綴子B ③坊沢
- ▽女子バドミントン ①綴子A ②坊沢 ③栄
- ▽男子バスケットボール ①七日市 ②綴子B ③栄
- ▽綱引き ①七座 ②綴子B ③七日市
- ▽総合得点 ①綴子B 29点 ②坊沢 24点 ③栄 綴子A 20点



夏の交通安全運動

期間 7月26日～8月10日

運動の重点

- 子どもと老人の交通事故防止
- 飲酒運転の徹底追放
- 暴走族の追放
- シートベルト、ヘルメット着用の推進

テレビで学ぶ 父親のありがた

深関・若妻グループ とその夫たち



鷹巣町生涯教育奨励室(公民館)では、毎月二回、NHKおかあさんの勉強家の記録を発行し、テレビ利用の家庭教育学習をよびかけている。六月二十三日、深関若妻学級(八名、委員長松橋明子)はその録画(VTR)を見ながらの学習会を開いた。この日はダンナたちも参加しての話しあいであった。

圧倒的に多い やさしいおとうさん

テーマは「うちのおとうさん」大阪近郊の小学三、四年生十名とその父親十名に、関西学院大学教授、田中国夫先生が質問する。子供たちへ、「あなたのおとうさんは、やさしいか、こわいか」の間に、「やさしい」と答えた子

が六名。理由は、「何でも買ってくれる」「ほめてくれる」「一緒に遊んでくれる」「こわい」と答えた子が四名で、「さわぐと叱る」、「うそをついた時なぐられた」、「言うことを聞かないとゲンコツされる」。

父親たちへの「あなたは子供に對してやさしいか、きびしいか」の間には、「やさしくしているつもり」が八名で、「きびしくしている」は僅か二名であった。

けむたい存在が必要

こうした父親像に田中先生は、つぎのように語る。「明治生まれの父親にきびしく育てられた昭和二けた生まれの現代の父親たちは、その反動として、ものわりのよい親になろうとしてい

る。また、核家族のせまい家の中で、いきしいふんいきをつくらぬように、と心がけている。その分母親が一生懸命になり、影のうすい父親、濃い母親となる。父親は子供と仲よしいが、子供のわがままをおさえる「けむたい存在」になることも必要である。子供が中学、高校生になると本格的に親父の出番がくる。仕事でも趣味でも一生懸命やって「おれはこうだ」と胸を張って言える父親になることだ。

家庭円満が何より大切

三十分間のテレビ視聴を終って話し合いにはいった。(深関の場合、小学生と幼児を持つ家庭がほとんどである) つぎのようなことが出された。

- 日中外に出て働いていることから子供と離れているので、甘えられ、わがままされても自信をもって叱れないことがある。
- 子供が物を欲しがっても、すぐ買いつけないようにしている。がまんさせると物を大事にするようになる。おこづかいは一週間に三百円与えている。
- 悪い時には、往復ビンタをやることもあるが、両親で怒ることはしないようにしている。
- おとうさんは、子供といっしょに町の走ろう会に参加するので共通話題がありとてもよい。
- 非行少年の家庭では、父親が弱く、母親が強過ぎの例が多い。そうだが、夫婦睦じく家庭円満が何よりも大事であるとの結論になった。

部落訪問



よ横 ぶち 測

国道一〇五号線のバイパスを走り、七日市に入ると、お寺の向いの石油スタンドのわきから右手に入る道がある。その道を百米ほどして横測部落がある。三十世帯の、まとまりのある静かな所で、西側に小猿部川が流れ、橋を渡ると杉林の山で、そこにお宮と墓地がある。

六月三十日、夕方六時、自治会長、千葉正重さんを訪ねる。天正十八年(一五一八)浅利氏の家臣、横測甚兵衛が居を構えたというのは、神社のわきの古館(フルダテ)という地名のところであろうか。いずれにせよ、この部落は、川向いの山手の高台にあったが、野火の度毎に危険にさらされるので現在地に移ったと伝えられていると、千葉さんは語る。

ここには、織屋(ハタヤ)生八丈(キハチジョウ)の名が伝えられている。藩政時代、千葉常右衛門が、桑を研究し養蚕を奨励し、機械三十台もある織物工場を建て絹織物を出していたこと。また、楮(コウゾ)を植

え、和紙をつくっていたことが「小猿部に光る」に書かれてある。文化の盛んな地は、また字識者も多く、寺とのいざこざがあり、こぞって神道に宗旨がえしたことも伝えられている。昔から耕地面積は少く、現在も、全部落で水田が僅か十haである。川向いの大野台には広い原野があり、水田化しようとして、合川町と折しようしているうちに、米の余る時代になってしまった。

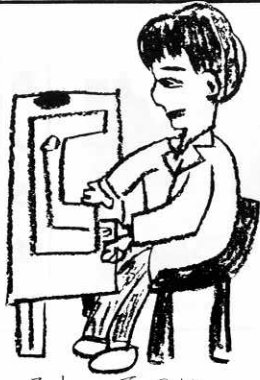
神社と墓と、薪と耕地のある川向いとをつなぐ横測橋は、洪水の度毎に流され、その横木を探しに村中の人が下流にでかけなければならなかった。ようやく集めては浮き橋にして渡っていたが、昭和四十五年から永久橋になり、その後延長され百米にもなっている。

耕地が少ないことから外で働く人が多いので日中はできないが、ときどき会館で何かを学ぼうと、千葉さんは語っていた。

(公民館長 長崎 久)

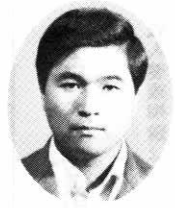


大野台と部落をつなぐ横測橋



わたしのおかあさん

おかあさんは、わたしがしらないうちに早くおきて、はたけにいらってきて、ごはんのしたくができてから、おこすのでおどろきます。それから、せんたくや、そうじをしてから会しゃに行つてミシンでスリッパをつくつていゝるそうぞう。おいしいごちそうもつくれるか



青年会と私

綴子下町 斉藤 一志(25)

私は、学校を卒業と同時に部活の青年会に加入し、今年で六年目を迎える。その加入の動機についてはとり立てていゝほどのこともなく、学校を卒業すれば皆が加入しているから加入したまでである。

当時は青年会活動の内容もよくわからなかったが、自然に仲間に入ることができ、また一緒に活動をするのができた。主に遊ぶことが多かったような気がするが、決して学習活動もおろそかにしたわけではない。仲間どうし朝まで語り合うこともめずらしくはなかった。こうしているうちに青年会というものを自分なりに理解するようになった。

ただ青年であるという共通点しかもない集まりが青年会と思ふ趣味も思想もまた職業もさまざまであるから、何をやるにしてもいろいろ意見が出るのは当然である。これが他のサークルにはない、青年会の大きな特徴と思ふ。青年会とは、いろんな人にめぐり合ひ、また語り合える場所である。こんなことから、私自身の今の生き方が

みんなの広場



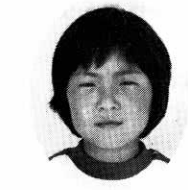
うわばみそう

山菜のミス。だれもが知つていて採取しやすい山菜。湿地を好む。

(理科センター・阿部達雄先生)

広報のしおり

暑中見舞い 七月一日か
のはがきが売り出されています。例年大騒ぎする年賀状に比べると目



綴子小学校 2年
いわや とみこ

ら、やさしくてとてもがんばりやのおかあさんだから、わたしは、大の大好きです。

立たない存在の暑中見舞いですが、時候の挨拶としては、年賀状と同様、暮らしに潤いを与えてくれるものです。

暑中見舞いを出すのは、暦の上で土用の十八日間と決まっています。この間出しそびれた場合、つまり、立秋以降は残暑見舞いということとなります。ことしは、土用の丑(うし)の日は二十七日、立秋は八月七日です。

注意したいことは、私的なものと公的なものは別にするということです。会社名が入っていたり、家族全員の名前が印刷された見舞い状は、ありがたさも薄れます。反面、子どもを中心とした時候のあいさつはほえましいものです。

たかの寸文芸

南藤集 田中喜代子

＝俳句＝

葉柳や昔大火のありし町
木洩れ日のベンチ昼寝の男たち
袋掛されて町家の庭のもの
検診車都忘れの花の瓶
桜児の何に笑まうや遠郭公
給餌場の魚影の濃さや花菖蒲
アカシヤの並木の端に貸車一つ
句碑裏に伸びほけたる夏蔵
まねごとの畑育ちゆく明易し
意のままにならぬ手業や短き夜

綴子釜堤 金藤五郎

甚平や一生とれぬ阿仁訃
阿仁川や石切る山の青ぶどう
きりきりと日が落ちてゆく胡桃割る
藤こぼれ遠くに金魚売の声
葎切のおちの鋭声や朝曇り

おしらせ



一線美術会会員 九島寮二氏

七月の健康相談

成人健康相談は、二十三日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。場所は、鷹巣公民館保健相談室です。

離乳食実習指導は、十六日、十五日、十四年十二月生まれとなっています。

時間は、午前九時半から。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康相談は、十六日、十五年三月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一

中小企業

倒産防止共済制度

中小企業倒産防止共済制度は連鎖倒産を防止するため、中小企業者の方々があらかじめ掛金を積み立てて、相互に救済(共済金の貸付け)する国でつくられた制度です。

加入後、6カ月以上経過して、万一取引先が倒産し、売掛金債権等の回収が困難となった場合、共済金の貸付けが受けられます。

- ◇貸付金 掛金総額の10倍以内 (最高2,100万円)
- ◇利子 無利子、無保証人、無担保

※くわしいお問い合わせは、商工会へ。

時まで。※場所は、いずれも鷹巣保健所で

予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は二十五日、鷹巣地区の方は二十五日に変更となります。受付時間は、午後一時から午後二時まで、鷹巣公民館保健相談室で行います。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

胃の集団検診

ガン予防対策の一環として実施

している胃の集団検診は、七月十七日から八月五日まで次の地域になっております。

検診日程については、随時広報に掲載いたしますので、対象地域の検診日に受診してください。

検診時間は、いずれも午前六時から七時まで。検診前日の夕食後は、お茶、おやつ等を取らないでください。

検診料は、一人六百円(生保世帯無料)です。

7月17日 小ヶ田、川口、湯車(小ヶ田会館) 18日 緑ヶ丘(緑ヶ丘会館) 19日 蟹沢(蟹沢会館) 22日 向黒沢(山内宅前)

23日 田沢、大沢、李岱、摩当(摩当生活センター) 29日 太田、高野尻(太田児童館) 30日 掛泥(掛泥会館) 31日 深閑、相善町、羽立、黒沢(坊沢公民館)

8月1日 上町、大町、新屋敷、街道町(坊沢公民館) 2日 小

田、田子ヶ沢、松原(小田会館) 5日 上町(上町児童館) ※なお、農協の組合員と家族の方には、それぞれの農協から検診料の一部負担があります。

善意

このほど、看護婦のオヤジがらばる「鷹巣上映実行委員会(会長近藤忠孝)の方々から、上映券の売上金五〇、〇〇〇円を社会福祉のためにと、町社会福祉協議会へ寄付がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽糠沢 石川太永治さんから亡母フサさんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽田中 三沢義一郎さんから亡父儀助さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽前山 熊谷芳太郎さんから亡二男勝さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽堂ヶ岱 小塚誠市さんから亡妻キクエさんの香典返し 三〇、〇〇〇円

▽堂ヶ岱 小塚儀平さんから亡妹和子さんの香典返し 五〇、〇〇〇円

誕生おめでとうございます。

6月16日～6月30日



二人の前途を祝福いたします

照内 均 綴子 下町

工藤 郁子 田代町

菊地 正隆 南鷹巣

大林 久美子 岩手県

遠藤 昭夫 舟見町

成田 葉子 仲町

武藤 優悦 深閑

松橋 淑子 田中

寺田 昌弘 大町

福田 静子 舟見町

津谷 愛子 二ツ井町

おくやみ申しあげます

- 岩川 ハツ (86歳) 西仲通
- 佐藤 久男 (39歳) 妹尾館
- 五代儀イソ (84歳) 西住吉町
- 小塚キクエ (69歳) 堂ヶ岱